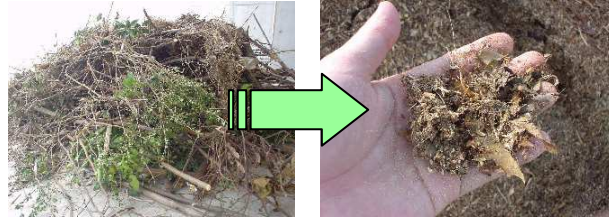


① 剪定枝のチップ化

佐賀市清掃工場（南部中継所を含む）に持ち込まれた剪定枝の一部をチップ化して、無料で配布しています。平成 27 年度は 5.4 トンの剪定枝をリサイクルし、483 人に配布しました。チップはマルチング材や堆肥の材料として利用することができます。



チップ
利用例

クッション材



衝撃を緩め、やわらかい感触の舗装材に利用できます。

マルチング材



土の表面に敷き詰めると、雑草が生えにくく、土の乾燥も防ぎます。

堆肥の材料



ひと手間掛けると良質の堆肥ができます。

② リユース品無償譲渡会

ごみ処理施設に持ち込まれた中で、まだ使えるもの（リユース品）を選定し、再使用を希望する市民へ無償で提供する会を、平成 21 年度から年数回開催しています。

平成 27 年度は 2 回開催し、家具やソファ、食器など、223 個の品物が新たな使用者のもとへ渡っていきました。



③ イベント会場での啓発活動

ごみ減量について広く市民にPRするため、さまざまな機会を利用して啓発活動を行っています。

11 月：2015 さが環境フェスティバル

2015 さが環境フェスティバルでは、14 日は佐賀市のごみ現状やごみの減量方法をパネルにして展示しました。また、パネルをもとにクイズラリーを行い、184 人が参加しました。

15 日は、佐賀市エコプラザによる体験型講座を行い、300 人が参加しました。



クイズラリーの様子

④ 買物袋持参運動

日本では年間約 305 億枚、一人あたりでは 300 枚ものレジ袋が使用されていると言われています。レジ袋 1 枚あたりでかさじ 1 杯 (15ml) の原油に相当します。

※出典：「なットク、知ットク、3R」 経済産業省
レジ袋を断り、マイバッグで買い物をすれば、ごみの減量と資源節約につながります。



店頭キャンペーン

平成 27 年度は、10 月に市内 2 ヶ所で店頭マイバッグキャンペーンを実施しました。アンケート協力者 200 人には、エコバッグをプレゼントしました。

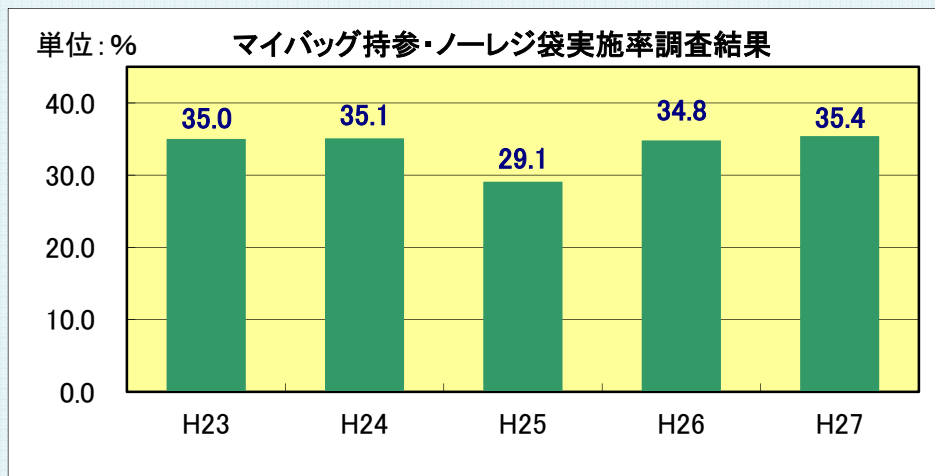
平成 27 年度の実施店舗

マックスバリュート佐賀医大店、スーパーモリナガ佐賀空
港道路店



佐賀市マイバッグ持参・ノーレジ袋実施率調査

市内スーパー 11 店舗で、買物客のうちレジ袋使用を控えた人数を調査しています。



佐賀市では地域に根ざした消費者活動を実施している消費者グループを支援しており、各地区消費者グループは事業の一環として、マイバッグキャンペーン等、環境意識の向上に取り組んでいます。

平成 27 年度は、マイバッグ推進街頭啓発 5 回、ごみ減量推進啓発 2 回、エコ料理講習 7 回実施されました。

⑤ 事業系ごみの減量化計画書提出の義務化

市の処理施設に事業系一般廃棄物を年間 36 トン以上処分するため搬入・処理している事業者等を「多量排出事業者」とし、廃棄物減量等推進責任者の選任と、事業系一般廃棄物の減量に関する計画書の提出を義務付けています。

平成 27 年度は 70 の事業者が該当しました。多量排出事業者を対象としてごみ減量や資源化の事例を紹介する研修会を 4 回行い、のべ 86 の事業者が参加しました。

